

命と雇用と生活を守るために、新生 J R 東労組で共に危機を乗り越えよう！

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、全国に「緊急事態宣言」が発出されました。このような中でも鉄道やバスで働く私たち組合員は、指定公共機関の社員として、公共交通を維持する使命を担っています。改めて、職場で奮闘する全ての皆さんに敬意を表します。

現在、それぞれの組合員が「感染しない・させない」ために、最大限の警戒感をもって工夫しながら業務を遂行していますが、日を増すにつれて、「いつどこで感染してもおかしくない」という恐怖と、「雇用は大丈夫なのか」「生活が維持できるのか」など、先の見えない状況への不安の声が増えているのも事実です。

そして、自粛要請によって休業や縮小を余儀なくされた企業が増え、「雇用」が危ぶまれています。それは本人だけではなく家族の生活まで困窮させ、最悪は生命の危機にも繋がります。飲食業をはじめとする収入がゼロに近い業種の急増や、学生の就職内定取り消し、テレワークによるリストラ対象者のあぶり出し、黒字企業でのリストラが報道され、まさに危機的状況です。

これらの動きは、J R 東日本グループも決して例外とは言えません。公共交通全体で観光流動だけではなく定期収入も激減する中、タクシー会社での大量解雇や航空業界での一時帰休など、雇用の不安定化や賃金を抑制する動きが活発化しています。企業は利益のためにあらゆる手を尽くす、それが資本主義社会です。終身雇用や年功賃金、職種など、あらゆる激変の「当事者」になる可能性を踏まえ、危機意識を持つ必要があります。雇用危機とも言える今こそ、法的に就業規則よりも優先される「労働協約」を会社と締結することで、組合員の雇用や立場をより強く守ることができる「労働組合」の存在が、不安なく安心して働ける環境を守る盾となり、組合員や家族を守ることに繋がると考えます。

J R 東労組は、組合員と家族の幸福のために、雇用確保と労働条件の向上を目指して取り組んできました。そして、新型コロナウイルスをめぐっては職場の声をもとに、様々な場面で会社と真摯に向き合い、職場の 3 密防止策や休業時の賃金のあり方などを具体的に議論しています。

全組合員、そして脱退を余儀なくされた皆さん！皆さんの「声」を組合役員に届けることが、安心して働ける環境づくりにつながります。新生 J R 東労組に結集して、雇用と生活を守り、この危機を共に乗り越えていきましょう！

2020年4月24日  
東日本旅客鉄道労働組合  
千葉地方本部